



鶴鳴が5年ぶり王座に

バスケット 女子 宿敵・純心を振り切る



【鶴鳴一対心】前半戦場の頂上
⑨が右サイドからシュートを決
める一瞬。立花は北北北北北北北北北北

バスケット

男子 瓊浦も5年ぶり

県高校総合体育大会

第4日

チーム全員燃えていた

鶴鳴の選手たちは、試合前から緊張感あふれる表情を浮かべていた。試合開始直後、鶴鳴は先制点を奪った。この試合は、鶴鳴と宿敵の心との対決。前半戦、鶴鳴は圧倒的な勢いで試合を進めた。後半戦も、鶴鳴は最後まで集中力を切らさず、最終的に勝利を収めた。この勝利は、鶴鳴にとって5年ぶりの王座獲得となる。選手たちは、この勝利をチーム全員で喜び、涙を流している。

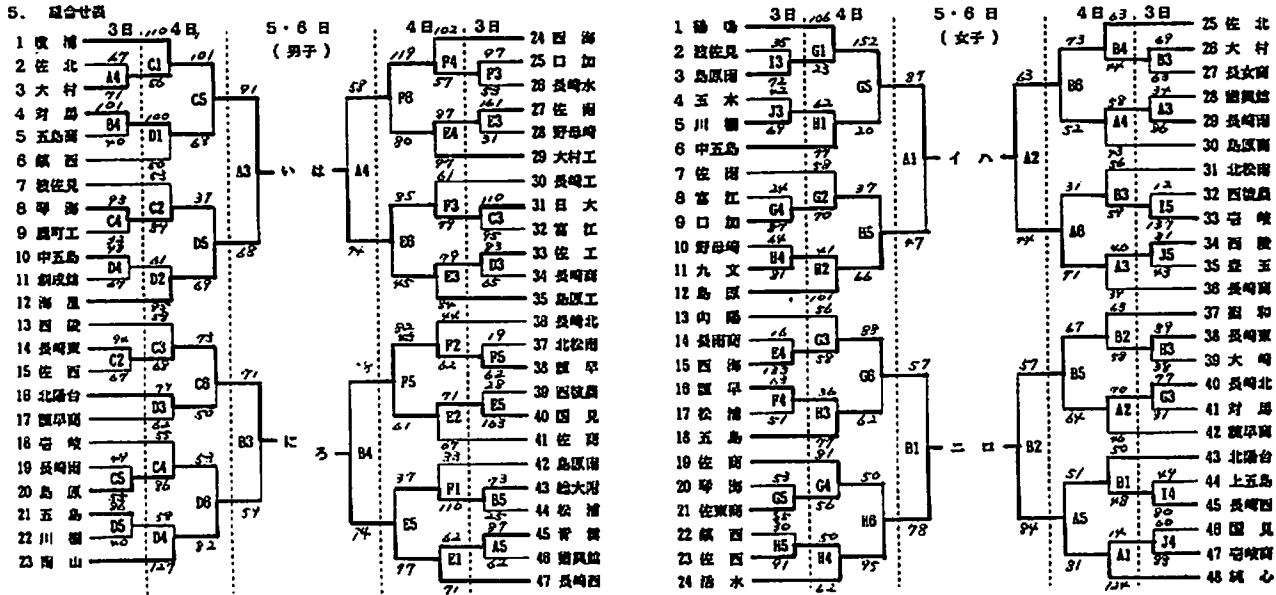
観衆席の熱気も、選手たちの闘志をさらに燃やした。試合中、観衆の応援が、選手たちの背中を押し上げた。鶴鳴の選手たちは、この熱気を利用して、試合を有利に進めた。最終的に、鶴鳴は8対0のスコアで勝利を収めた。この勝利は、鶴鳴にとって5年ぶりの王座獲得となる。選手たちは、この勝利をチーム全員で喜び、涙を流している。

チーム	勝	敗	引	得点	失点
鶴鳴	1	0	0	80	72
心	0	1	0	72	80
北	1	0	0	62	51
西	1	0	0	62	51
東	1	0	0	62	51
南	1	0	0	62	51
北北	1	0	0	62	51
北北北	1	0	0	62	51
北北北北	1	0	0	62	51
北北北北北	1	0	0	62	51

平水

ご声援ありがとうございました。接戦するのではないかと予感がありました。新人戦や練習試合では大差で勝ってても、ここの一番のタイトルがかかった試合では楽には勝てないということが、若い選手達に生々しい実感として伝わったと思います。そしてこのことは、これから全国の強豪と並ぼうとする選手達にとって、大きな財産になったと思います。こうした経験をふまえて、一歩一歩鶴鳴復活を築きあげていきたいと思います。

長い間、辛抱強く見守ってくださった方々、選手を送り続けてくださった中学の指導者の方々に心から感謝いたします。



平成元年9月4日

各位

鶴鳴女子高校バスケットボールチーム
監督 山崎 純 男

九州高校選抜大会長崎県予選会参加報告

このことについて、下記の通り報告いたします。

記

全国選抜大会が例年3月に行われていましたが、今年度より12月開催となりました。

今までは参加資格も、1・2年生の新チームということになっていましたが、今年からは3年生も出場可能になりました。

県予選は従来通りベスト8のチームで行いますが、従来と違うのは3年生が引退して新チームで参加する学校や、3年生も出場させる学校がまちまちで、例年(1月)の試合のようにシード校が順当に勝つとは限らないことです。

さて、結果は右の通りです。

この結果、1、2位は10月21・22の両日佐賀市で開かれる九州大会に参加しますが、この大会で3位まで12月に東京で行われる全国選抜大会に出場できます。

そして、九州大会の組み合わせは7月の理事長会議ですでに決定しています。その9組み合わせは右頁のとおりです。

県予選。

8月下旬に、松山・田端がケガをして#1#2を欠いての試合だったので、苦しい試合でした。

男子は瓊浦

女子は鶴鳴優勝

◇バスケットボール 第20回全
国高校選抜優勝大会県予選会(2、
3日・長崎南山高ほか)
【男子】
▽一回戦

瓊浦	海星	瓊浦	海星	長崎東	長崎日大	瓊浦
▽決勝		▽準決勝				
85	61	85	79	82	55	111
77	54	72	44	32	48	67
海星	長崎東	長崎日大	長崎西	諫早	長崎南山	西海学園
鶴鳴	純心	鶴鳴	純心	佐世保	活水	鶴鳴
▽決勝		▽準決勝				▽一回戦
58	73	101	109	63	53	86
47	47	11	26	47	34	53
純心	佐世保	活水	島原	西海	西陵	聖和
心	北水	北水	原	園	陵	和

平成元年9月22日

各位

はまなす国体バスケットボール競技
長崎少年女子国体チーム
監督 山崎 純 男

はまなす国体参加報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

試合結果 愛知(名短+星城) 92 $\left[\begin{array}{l} 40-26 \\ 52-15 \end{array} \right]$ 41 長崎

スタメン	#2	5	芦北出世(イヨ)	163cm	純心女子高校	3年
	#4	7	濱口優子(レイ)	176cm	鶴鳴女子高校	3年
	#3	9	岩永優美(キュー)	176cm	鶴鳴女子高校	2年
	#5	13	濱口典子(マック)	182cm	鶴鳴女子高校	1年
	#1	14	松尾朋子(トモ)	159cm	鶴鳴女子高校	1年
バックアップ	#3	4	岡陽子(エツ)	165cm	鶴鳴女子高校	3年
	#2	6	中村由香(ブータ)	162cm	活水高校	3年
	#1	8	田端りえ(グル)	170cm	鶴鳴女子高校	2年
	#4	10	山崎育子(イク)	167cm	鶴鳴女子高校	2年
	#5	11	岡田こずえ(ビー)	171cm	鶴鳴女子高校	2年
	#1	12	松山ゆかり(ナウ)	178cm	鶴鳴女子高校	1年
	#3	15	山口理香(リカ)	167cm	鶴鳴女子高校	1年

日本一の強さを肌で感じられたことは、計り知れない収穫でした。

食い付いていける時間帯があったこと(インターハイ以後の進歩)

アツという間に離されたこと(力の差)

両方とも大切に、来年度に向けてがんばります。

松尾の、にわか仕立てのリードマンで松尾自身が伸びたのは思わぬ副産物でした。

最高得点だった山崎の成長ぶりが目立ちました。

山口が使えるようになりました。(肉離れで長期休養)

浜口(妹)のパワーアップがカギです。

ご声援ありがとうございました。

平成元年10月23日

各位

鶴鳴女子高校バスケットボール部
監督 山崎 純 男

全国高校選抜大会九州地区予選会結果報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

4岡	陽子(エツ)	3年⑥	167	富江(五島)	6点	
5浜	口優子(レイ)	3年①	177	深堀(長崎)	5点	
6田	端りえ(グル)	2年⑦	170	清水(佐世保)	8点	
7岩	永優美(キュー)	2年③	177	諸富(佐賀)	9点	
8山	崎育子(イク)	2年⑦	168	時津(西彼杵)	2点	
9池	田千代(チヨ)	2年⑦	155	横尾(長崎)		
10藤	原由理(さくら)	2年②	161	桜馬場(長崎)		
11岡	田こずえ(ビー)	2年⑤	171	岩屋(長崎)		
12濱	口典子(マック)	1年⑥	183	深堀(長崎)	12点	5反則
13松	尾朋子(トモ)	1年④	160	長崎(長崎)	6点	
14山	口理香(リカ)	1年④	167	横尾(長崎)		
15松	山ゆかり(ナウ)	1年④	179	清水(佐世保)	10点	

心に悔いが残りました。

理由は、策戦を実行するのに、選手の起用に、私自身の思い切りが悪かったからです。

九州国体以後、田端・松山のケガの回復と見合せながらの練習で、用心しすぎました。

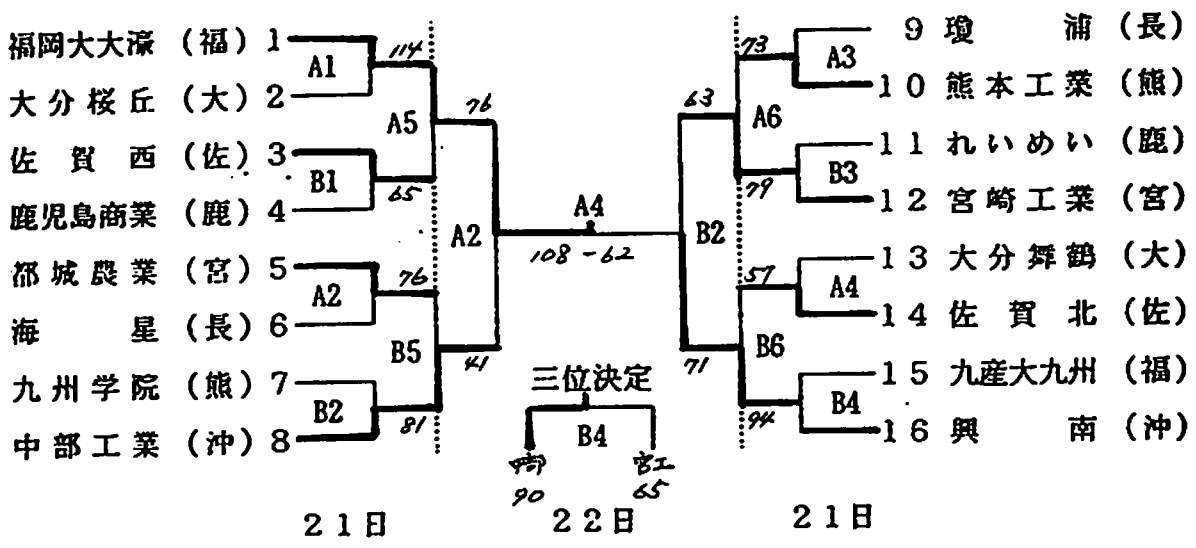
終盤の戦いぶりを振り返れば、結局強烈なディナイディフェンスもオールコートゾーンプレスもできたんですが、失敗することを恐れ、選手が思い通りにやってくれないことを恐れ、無難な方策ばかりとったのです。

点差が常に射程距離だったことも、手を打つことに二の足を踏ませました。

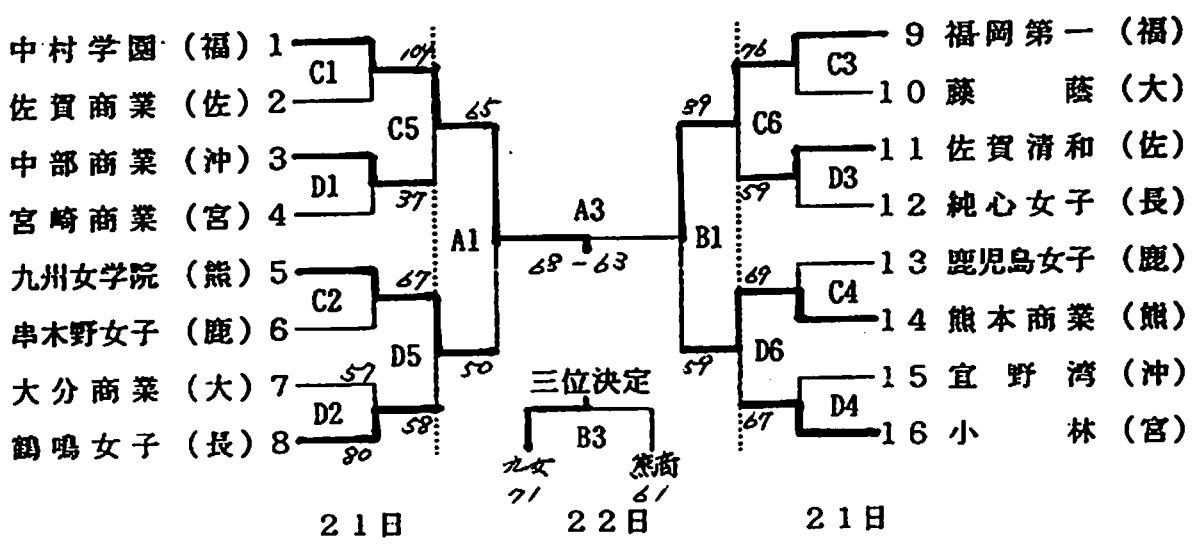
選手とコーチの信頼関係は、十分に練習を積み上げてコートの上で削りあげるもので、ノートや策戦板の上で削られるものではありませんね。

第20回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
九州地区予選会 組合せ

(男子)



(女子)



◎ コート A・B 佐賀県総合体育館
 C・D 佐賀県文化体育館

◎ 競技時間 第1試合 9:00~ 第4試合 13:30~
 第2試合 10:30~ 第5試合 15:00~
 第3試合 12:00~ 第6試合 16:30~

平成元年10月30日

各位

鶴鳴女子高校バスケットボール部
監督 山崎 純男

長崎地区高校新人大会結果報告

		得点	反則
4	田端 りえ (グル) 2年⑦ 170	清水 (佐世保) 9	1
5	岩永 優美 (キュー) 2年③ 177	諸富 (佐賀) 2	0
6	山崎 育子 (イク) 2年⑦ 168	時津 (西彼杵) 7	1
7	岡田 こずえ (ビー) 2年⑤ 171	岩屋 (長崎) 6	0
8	江頭 真美 (シン) 2年⑦ 167	横尾 (長崎)	
9	池田 千代 (チヨ) 2年⑦ 155	横尾 (長崎) 4	0
10	藤原 由理 (さくら) 2年② 161	桜馬場 (長崎) 2	0
11	松山 ゆかり (ナウ) 1年④ 179	清水 (佐世保) 16	3
12	濱口 典子 (マック) 1年⑥ 183	深堀 (長崎) 10	4
13	松尾 朋子 (トモ) 1年④ 160	長崎 (長崎) 6	2
14	山口 理香 (リカ) 1年④ 167	横尾 (長崎) 7	4
15	川原 涼子 (リョウ) 1年④ 161	深堀 (長崎)	
16	城添 環 (ジョー) 2年④ 168	山里 (長崎)	
17	橋本 真美 (ボア) 2年⑤ 164	大瀬戸 (西彼杵)	
18	松下 純子 (モン) 1年③ 168	戸町 (長崎)	
19	白浜 慈子 (ヤーコ) 1年⑤ 172	真城 (諫早)	

10/12 韓国チャンピオンの仁聖高校と親善試合。
田端・松山をほんのちょっと出しながら、30点差をつけられたけど善戦。

その後 二人のからだづくりに気を配りながら戦列復帰させる。

10/21 全国選抜九州予選。
動き重く本来の力出ず。

10/29 新人戦優勝するも、九州国体時の力は影も形もなし。

以上のような経過をたどり、チームは今どんど底です。

私の目から見てもっとも強く感じられるのは、選手がプレーの選択に迷っていることです。

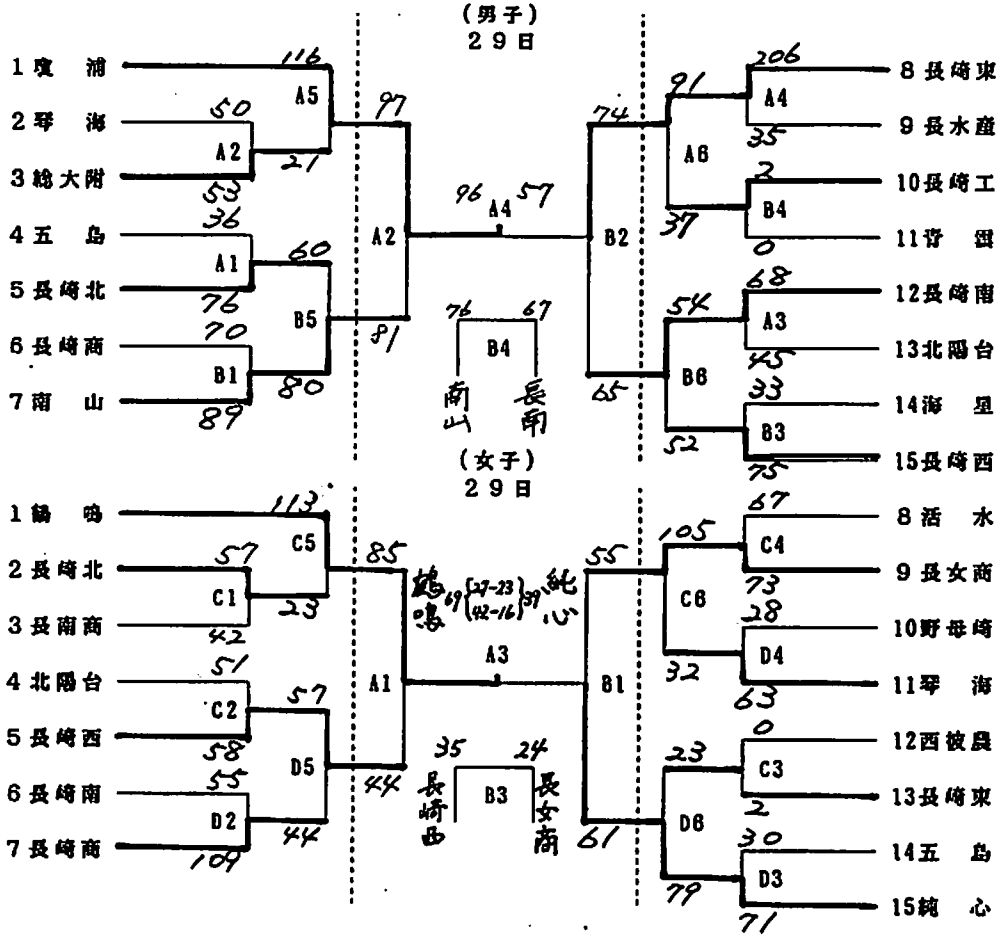
それを挽回しようとするほどそれが裏目に出、ずるずると深みにはまっています。

選手が迷っている時こそ私の出番。

がんばります。

平成元年度 長崎地区高等学校バスケットボール新人大会 組合せ

1. 期 日 平成元年10月28日(土)・29日(日)
2. 会 場 A・Bコート 長崎西高等学校体育館
C・Dコート 活水高等学校体育館
3. 試合時間 (28日) (29日)
 ① 9:00~④ 13:30~ ① 10:00
 ② 10:30~⑤ 15:00~ ② 11:30
 ③ 12:00~⑥ 16:30~ ③ 13:00
 ④ 14:30
4. 組合せ



平成元年11月21日

各位

鶴鳴女子高校バスケットボール部
監督 山崎 純男

県下高校新人大会参加報告

このことについて、下記要領のとおり報告いたします。

記

						反則	得点		
4	田端	りえ	(グル)	2年⑦	170	清水	(佐世保)	—	—
5	岩永	優美	(キュー)	2年③	177	諸富	(佐賀)	0	10
6	山崎	育子	(イク)	2年⑦	168	時津	(西彼杵)	2	4
7	岡田	こずえ	(ビー)	2年⑤	171	岩屋	(長崎)	2	2
8	江頭	真美	(シン)	2年⑦	167	横尾	(長崎)	0	4
9	池田	千代	(チヨ)	2年⑦	155	横尾	(長崎)	1	2
10	藤原	由理	(さくら)	2年②	161	桜馬場	(長崎)	2	2
11	松山	ゆかり	(ナウ)	1年④	179	清水	(佐世保)	4	14
12	濱口	典子	(マック)	1年⑥	183	深堀	(長崎)	1	13
13	松尾	朋子	(トモ)	1年④	160	長崎	(長崎)	2	5
14	山口	理香	(リカ)	1年④	167	横尾	(長崎)	0	6
15	川原	涼子	(リョウ)	1年④	161	深堀	(長崎)	0	2
16	城添	環	(ジョー)	2年④	168	山里	(長崎)	—	—
17	橋本	真美	(ボア)	2年⑤	164	大瀬戸	(西彼杵)	0	4

前回の地区新人大会とほぼ同じ得点と失点ですが、内容はまるで違います。走れるようになりました。

課題として残っていた松山のシュートの信頼度が高くなりました。

これからの課題として上げるならば、

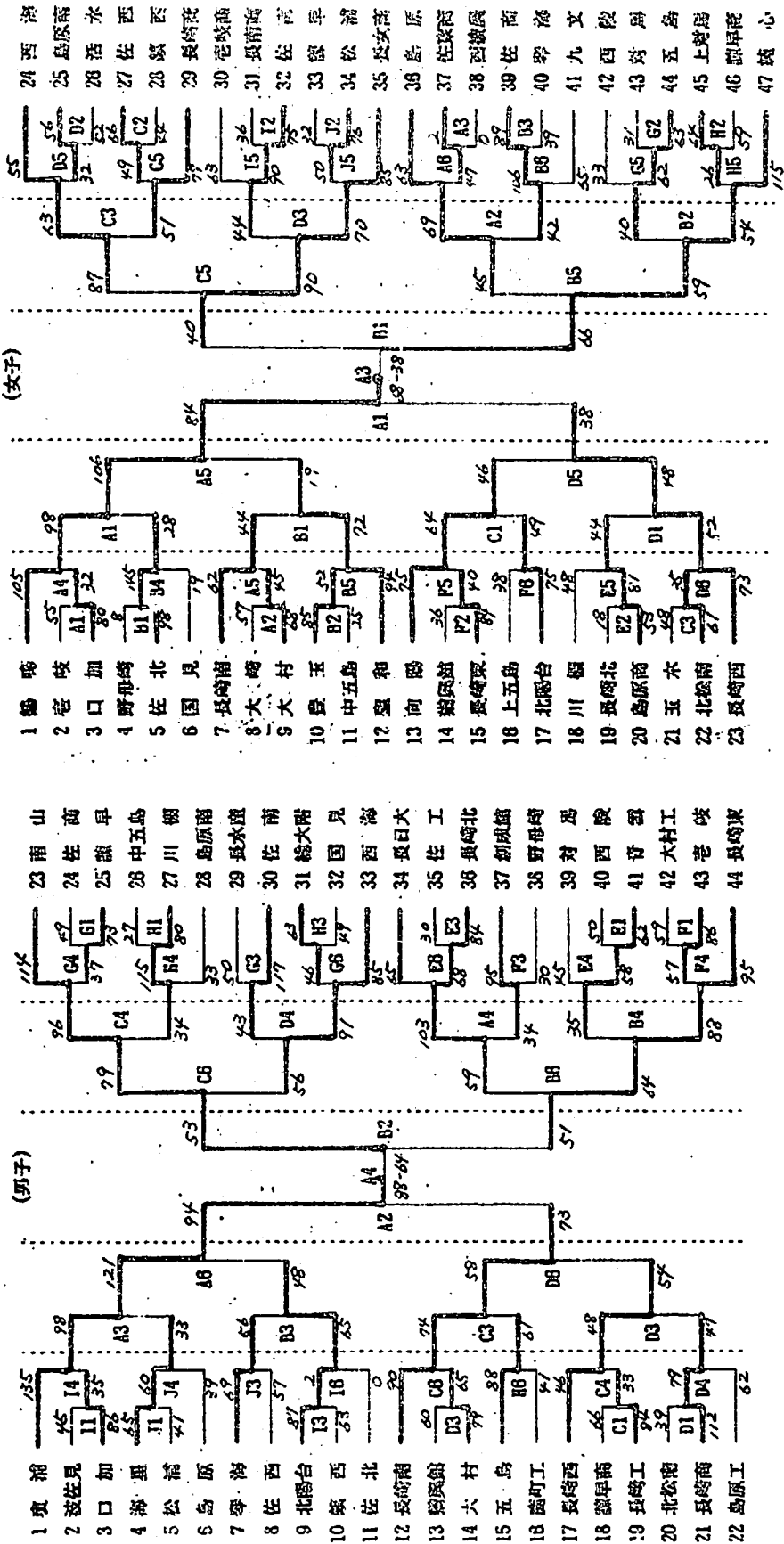
チームとしては一各ハーフの途中で必ず1度は訪れるもたつきの時間帯をなくすこと。(体力と集中力の問題だと思います)

個人的には——ほんのちょっとしたことでいつまでも動揺が尾を引く岩永・山崎濱口の精神の鍛錬。

備考

これは、言わなくてもいいことですが田端が1回戦のゲーム前のアップの時足首の捻挫をして全試合欠場(まったくあいつは…!)

平成元年 長崎県高等学校新人体育大会バスケットボール競技



平成2年1月22日

各 位

鶴鳴女子高校バスケットボール部
監督 山崎 純 男

全九州高校バスケットボール春季選手権大会長崎県二次予選会結果報告

このことについて、下記のとおりご報告いたします。

記

						得点	反則	出場時間
4	田 畑 り え (グ ル)	2年	170cm	清 水 (佐世保)				肉離れ
5	岩 永 優 美 (キュー)	2年	177cm	諸 富 (佐賀県)	8	0	13分	
6	山 崎 育 子 (イ ク)	2年	168cm	時 津 (西彼杵)	5	2	19分	
7	岡 田 こずえ (ビ ー)	2年	171cm	岩 屋 (長崎市)	5	5	26分	
8	江 頭 真 美 (シ ン)	2年	167cm	横 尾 (長崎市)	0	0	2分	
9	池 田 千 代 (チ ヨ)	2年	155cm	横 尾 (長崎市)	7	0	14分	
10	藤 原 由 理 (さくら)	2年	161cm	桜馬場 (長崎市)	2	0	15分	
11	松 山 ゆかり (ナ ウ)	1年	179cm	清 水 (佐世保)	16	1	28分	
12	濱 口 典 子 (マック)	1年	183cm	深 堀 (長崎市)	24	2	30分	
13	松 尾 朋 子 (ト モ)	1年	160cm	長 崎 (長崎市)	12	3	30分	
14	山 口 理 香 (リ カ)	1年	167cm	横 尾 (長崎市)	7	2	23分	
15	川 原 涼 子 (リョウ)	1年	161cm	深 堀 (長崎市)				インフルエンザ
					86	15		

試合前日の19日は、健康な状態で練習に参加しているのが4人(岡田・岩永・松尾・濱口)。
田畑のふくらはぎ肉離れ(1月5日 対九州女学院との練習試合)以外はインフルエンザで、練習不参加だけではなく全員高熱が出て学校欠席という状態でした。

ちなみに3学期に入ると学校全体がインフルエンザに襲われ、始業式から日を追う毎に患者がウナギ昇り。始業式の日には欠席総数37人だったのが連休明けの16日には283人。バスケット部員も14日午後、藤原が急に熱発して帰宅したのを皮切りに毎日患者発生。

20日は山崎が自宅療養のため欠場。翌21日は山崎は出てきたけど川原が発熱して欠場。結局この大会は10人で戦いました。

【ケガ病気も試合のうち】を思い知らされた大会でした。

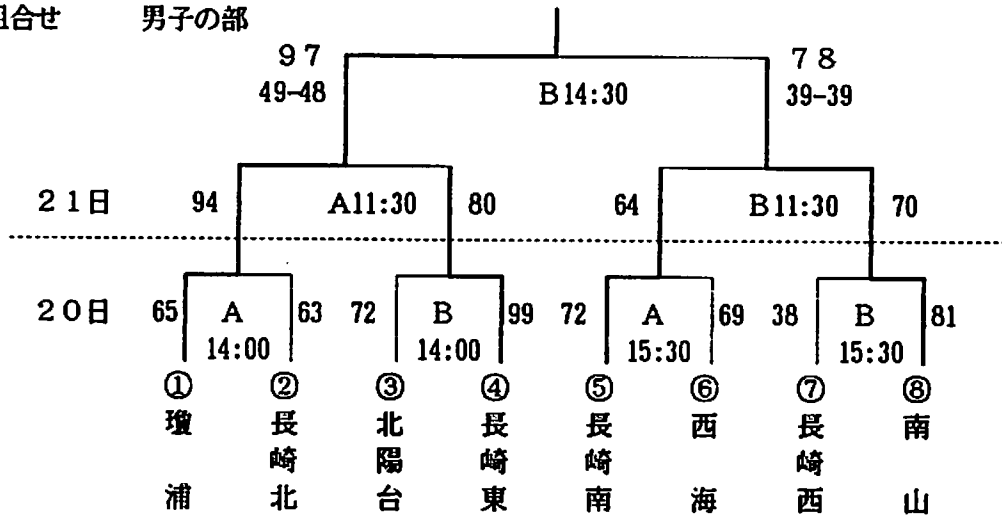
試合内容は、オフェンス・ディフェンスともに選手がこれからの方向を理解してきたという段階で、幼稚さはまだまだいっぱい残っています。

第20回 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会長崎県二次予選会
組 合 せ

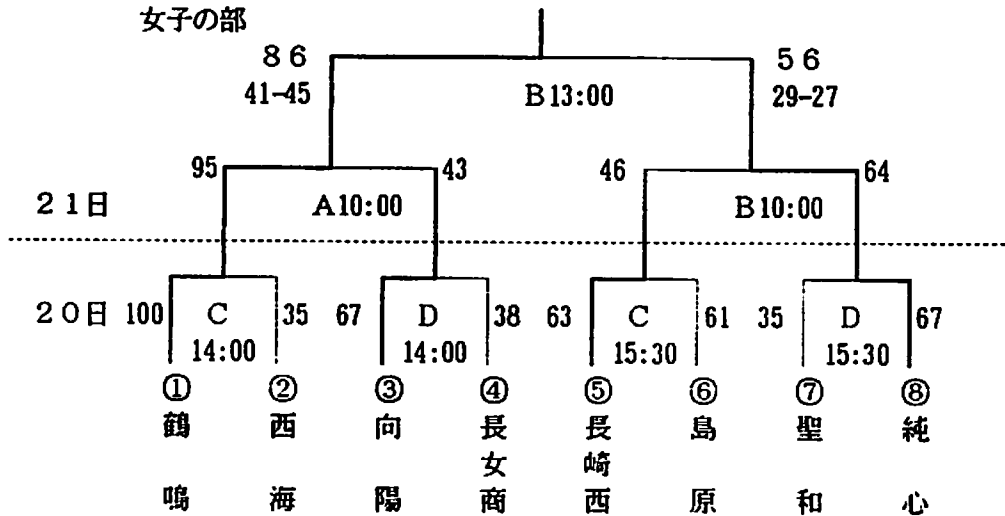
1 日 時 平成2年1月20日(土)・21日(日)

2 会 場 A・B 長崎市民体育館
C・D 純心女子高校体育館

3 組合せ 男子の部



女子の部



備考

- 九州大会は、2月17(土)・18(日)の両日熊本市で行なわれます。
- 九州大会の組合せは先日の九州理事長会で抽選の結果、第4シードのワクに入りました。
1回戦が鹿児島川内純心、2回戦が佐賀清和と熊本商業の勝者、準決勝が中村学園という組合せです。

各位

鶴鳴女子高校バスケットボール部
監督 山崎 純男

全九州高校バスケットボール春季選手権大会結果報告

このことについて、下記のとおりご報告いたします。

記

	対	川内純心			対	尚綱学園			対	中村学園			対	九州女学院		
		点	反	時間		点	反	時間		点	反	時間		点	反	時間
4 田端	2年	170cm(清 水)...
5 岩永	2年	177cm(諸 富)	7	0 20分	8	0 20分	0 2 37分	3	1 36分							
6 山崎	2年	168cm(時 津)	10	2 19分	2	3 15分	0 1 2分	2	0 2分							
7 岡田	2年	171cm(岩 屋)	17	1 24分	6	3 27分	6 0 25分	4	1 35分							
8 江頭	2年	167cm(横 尾)	3	1 12分
9 池田	2年	155cm(横 尾)	0	3 16分	0	0 1分
10 藤原	2年	161cm(桜馬場)	3	0 16分	0	0 14分
11 松山	1年	179cm(清 水)	10	1 24分	22	2 39分	25 1 40分	14	2 40分							
12 濱口	1年	183cm(深 堀)	18	3 21分	23	5 37分	9 4 40分	19	2 38分							
13 松尾	1年	160cm(長 崎)	3	3 24分	8	2 38分	8 3 40分	12	3 40分							
14 山口	1年	167cm(横 尾)	2	0 20分	3	0 9分	2 2 16分	0	0 9分							
15 川原	1年	161cm(深 堀)	0	0 4分

評判の方が先行しています。

中村学園との試合は手がとどくところまで追い詰めたと思ったらミスが出るという場面が二度ほどありました。

まだ、松山・濱口・松尾の1年生トリオの力が読めません。

練習ゲームに関するかぎりにおいては確かに強くなりました。でも、このような公式戦になるとひどいプレーが随所に出ます。

彼女達自身も練習試合と本番の出来のあまりの差にいらついています。

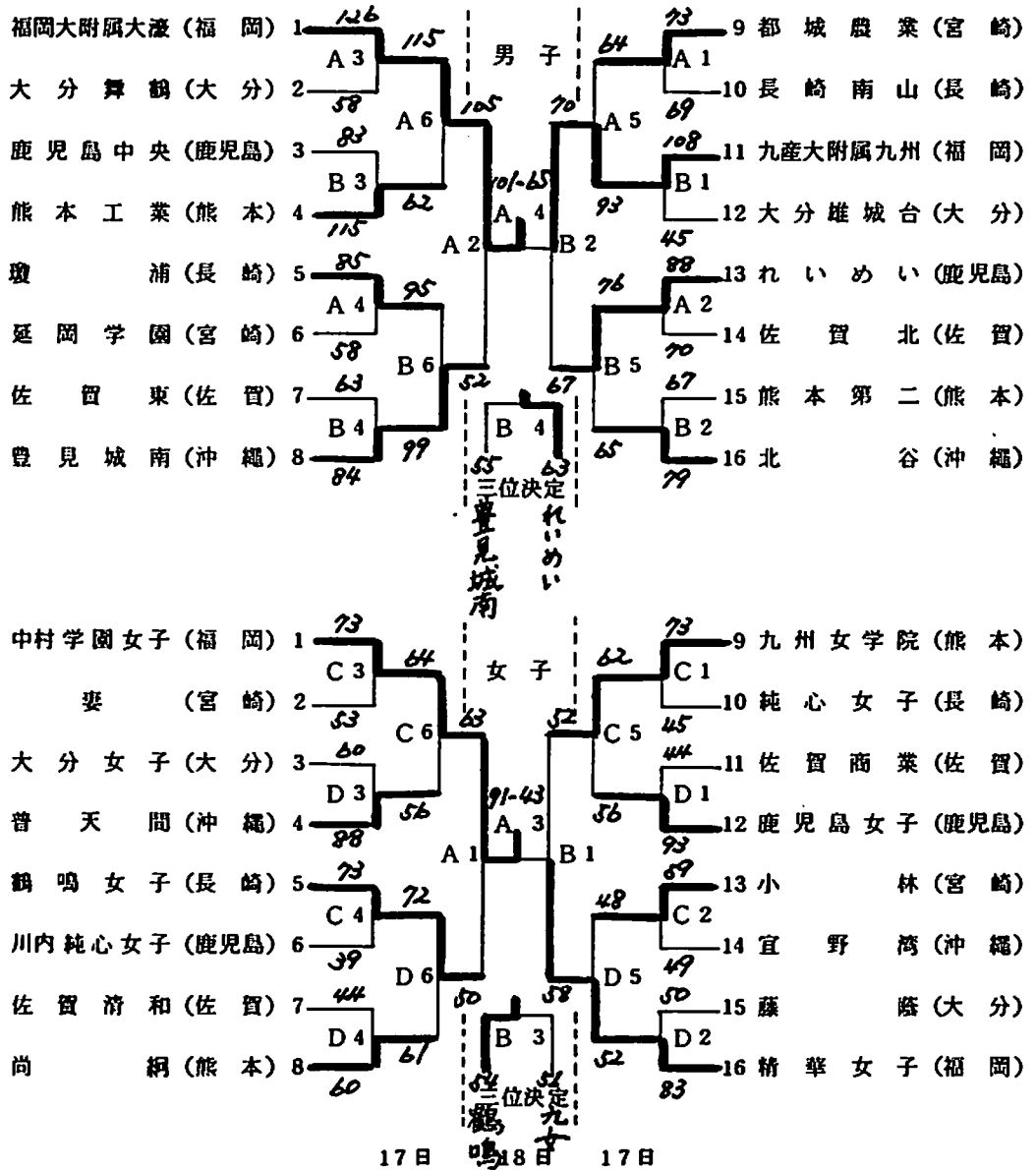
特に濱口は試合中の過緊張がひどくフリースローの時などコチコチです。悲壮な顔をしてやります。私にはその理由がわかります。彼女は自分の中学時代までの甘えとわがままに気付き、依存心をなくして立ち立しなければいけないという自覚と不安に揺さぶられているんです。

もうすこし待ってやってください。

満足できない大会でしたが、ひとつだけいいことがありました。それは、岩永が顔を真っ赤にしてフル出場したことです。

岩永の心配は体力でした。シュートをポンポンと決めたらサッと引っ込めてやらないと続きませんでした。出場時間が長くなったのに得点が減ったというのも変ですが、40分もちこたえられたのは大きな収穫だと思います。

組 合 せ



※ コー ト A・B 熊本市立総合体育館大体育室
 C・D 熊本市立総合体育館中体育室

※ 競技時間 第1試合 9:00～ 第4試合 13:30～
 第2試合 10:00～ 第5試合 15:00～
 第3試合 12:00～ 第6試合 16:30～